

田中 春仁

岐阜メイツ睡眠クリニック

長期的な CPAP アドヒアランス向上には、CPAP 機器システムの改良のみでは限界があるかもしれません。最近、問題中心型 CPAP 診療から、患者中心型 CPAP 診療の重要性が強調されています。その観点から、ICT と行動科学を活用が生み出す円滑な診療システムの提示や患者の自己効力向上支援の例をプレゼンします。